

[施策 4 6 戦略経営]


[施策総合評価]

◎ (6.0点)

[目指す姿]

本市では、総合計画を中心として行政評価、予算編成、組織編成及び定員管理が連動し、時代の変化に対応した柔軟で機動性の高い意思決定と実践力の下、経営資源を有効にかつ総合的に活用した行政経営を行い、最少の経費で最大の市民サービスを提供しています。

[まちづくり指標]

指標 1 簡素で効率的な行政運営が行われていると思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
		—	—	—	18.9	—	10.3	24	29
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、18.9%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 29%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 座間市では、今後の公共施設のあり方等の検討を行っており、行政サービスの見直しを図りながら、簡素で効率的な行政運営が行えるよう「公共施設利活用指針」を平成 26 年度までに作る予定ですが、年々、扶助費等の義務的経費が伸びていますが、それと比例した歳入の伸びが無い状況下では、改革だけでは、市民サービスの低下や社会的公平性の欠如を招くといった懸念が指摘されています。									
①	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 85.1\%$ 頑張ろう								
(今後の方策) 市民アンケート結果が、前回より 8.6%減になっていますが、指標名のとおり、簡素で効率的な行政運営が行われていると思われる情報等を広報等の媒体で積極的に市民に提供できるよう努めていきます。 平成 23 年度からの第四次座間市総合計画を中心に行政評価、予算編成、組織編成及び定員管理が連動する質面も重視した行政経営システムの確立により、効率的な行政運営と市民サービスの向上の両立に努めます。									

[内部評価]

465201 行政評価システム推進事業

総合評価 9点

平成14年度から実施している行政評価は、平成23年度からスタートした第四次座間市総合計画の進捗管理ツールとして位置づけ、市民等へ分かりやすい内容で説明責任を果たすことが必要である。

465304 職員提案制度事業

総合評価 5点

職員一人一人の意識改革を向上させるための研修等の実施により、組織的な意識の高揚を図りながら、攻めの姿勢で提案がされるような環境を構築できるよう検討を要す。

465501 公共施設利活用指針策定事業

総合評価 10点

今後の公共施設のあり方を検討する上で、当該指針の策定は必要不可欠である。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	41%	52位/52施策
重要度	3%	37位/52施策

外部評価委員（評価・提言 H25年1月実施）

- 第四次座間市総合計画の進行管理や、行政評価と人事評価・組織編成との一体的運用による有効性をさらに高めていくためには、各担当課との情報交換を定期的に行い、取り組みの成果・課題を的確に把握していく必要がある。
 - 座間全体のイメージアップのために、マスコットキャラクター「ざまりん」の活用を多方面で進めていくべきである。
- 戦略プロジェクト6
- 公共施設の維持管理のあり方については、行政サービスの水準、財政負担、役割分担等の関連情報を十分に把握し、多角的視点から公共施設の利活用の方策を探る必要がある。

外部評価（アンケート・外部評価委員）に対する対応

- 行政評価を第四次座間市総合計画の進行管理ツールとして、施策評価書を作成するプロセスにおいて、施策担当課等との成果・課題等について、確認作業を行います。今後とも、一体的運用による有効性を高めるよう努めます。
- 現在、ホームページ等での情報発信、庁内外のイベント等へ参加し、シティーセールスに広く活用しています。また、庁内横断組織としてプロジェクトチームを発足させ「ざまりん」をより一層活用するため、より斬新なアイデアを構築するための取り組みを行います。
- 平成24年度に作成した「公共施設白書」をベースに、平成25年度から「公共施設利活用指針」を作成し、今後の公共施設のあり方等に対応する予定です。

[施策 4.7 財政運営]


[施策総合評価]

◎ (6.0点)

[目指す姿]

将来にわたる財政基盤の強化及び効率的な財政運営を図るため、自主財源及び依存財源の確保はもとより、経常経費の抑制、財源の有効配分や債務の解消を確実にを行い、所有する財産の適切な管理を行う中で経営資源の有効な活用を図り、常に次世代に説明責任を果たすことができます。

[まちづくり指標]

指標 1 健全な財政運営に向けて取り組んでいると思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
①	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	—	26.4	—	15.1	28
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、26.4%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 30%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 高度・多角化する市民ニーズや社会情勢の変化に対応するため、市債の計画的償還などに努めてきたところですが、将来にわたる財政基盤の強化や効率的な財政運営を図るためには、各種財源の確保や経常経費の抑制、所有財産の適切な管理を通じて次世代に説明責任を果たしうる取り組みが必要です。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 313.9\%$ 頑張ろう 									
(今後の方策) 健全な財政運営を継続的に進めていくためには、権限・財源と責任を自ら持つといった地域主権型社会の確立が重要なことから、他市町村と歩調を合わせつつ、その実現を強く働きかけます。									

[内部評価]

475107 財務会計システム管理運用事業

総合評価 10点

公会計システムにも対応した財政運営の基幹システムであり、必要性は極めて高い。

475130 水道事業会計福祉減免負担金

総合評価 6点

今後も公平性の観点から引き続き制度の見直しについての検討が必要である。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度 68.7% 33位/52施策

重要度 6% 27位/52施策

[施策 4 8 賦課・徴収]

[施策総合評価] . . . 設定なし

[目指す姿]

市民は、市が公平かつ的確な賦課、徴収を行っていると感じています。

[まちづくり指標] . . . 設定なし

[内部評価]

設定なし

[外部評価]

アンケート結果（H24 年 7 月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	81.7%	13 位/52 施策
重要度	6.7%	24 位/52 施策